



六稜秀報

CONTENTS

- 02 名誉会長挨拶
03 137周年総会ご報告
06 トピックス
　・会長 生徒自治会を電撃訪問
08 ラグビ一天高戦
11 会館催事報告
12 六稜若手異業種交流会
　行列の出来る就活相談所
14 東西講演会比較
　・六稜トークリレー
　・東京六稜倶楽部
　・六稜文庫
　・六稜カルチャー
15 六稜Webリニューアル
　六稜Web投稿規定
16 文化勲章特集
26 母校の窓
　・クラブだより
　・123期学年理事
31 事務局だより
　・年会費納入状況
　六稜短信

Party Reports 1
09 69期、70期
　クラブ対抗ゴルフ
　ゴルフ案内
Party Reports 2
20 76期、80期
21 89期、92期、102期
23 112期、115期
24 116期
　119期はじめての同期会



56
2011.3.1

北野にまつわる数

六稜同窓会 名誉会長 八尾 隆



昨年の創立 137 周年同窓会総会。好奇心旺盛な会員の皆さんを刺激したのか、私の話を是非会報にととのご要望。拙い話ですが、厚かましく書き留めさせていただくことにいたします。

数学の教員だからと言うわけではないのですが、私には数にこだわる癖があります。数字を見るとつい素因数分解してみたり、どんな数なのかと考えます。見た目の美しい数や素数の時にはとても嬉しくなるのです。そこで今日は北野にまつわる数のお話です。

北野は創立 137 年を迎えたが、実は 137 は素数。そもそも創立の 1873 年、この数も素数です。和暦では明治 6 年。六稜の 6 ですが、6 はまた「最小の完全数」という特別な数なのです。完全数とは自分より小さな約数を全部加えると自分になるという数で、その次は 28。これは阪神の江夏豊投手の背番号だと『博士の愛した数式』(小川洋子著)で紹介されて一躍有名(?)になった、その美しい完全数なのです。

旧制北野中学校が北野芝田町から現地に引っ越しして来たのが昭和 6 年。本校卒業生の竹山聖氏による新校舎の基本設計ができるのが平成 6 年。ここにも最小の完全数 6 が登場します。

ところで、北野は明治 6 年に欧学校として難波御堂に開校されましたが、欧学校から集成学校と名を変えるまでの間は、僅かに 9 日間でした。3 の 2 乗の 9。日本では「九」は「苦」に通じ、忌み嫌われることもあるのですが、中国では全く反対で、とても目出度い数です。日本でも 9 月 9 日は重陽の節句として有名です。

唐突ですが、北野高校のクラブハウス、通称「部室長屋」は何階建てだったでしょうか?

新北野中学校に面した通りに沿って建つ部室は、新校舎が建築されるまで 3 棟ありました。北側が定時制用、中央と南側が全日制用でしたが、現在残っているのは北と中央です。さて全日制用は何階建てかというのがクイズです。

一見 2 階建てですが、実は 1 階建て。正確には 1 階の建物を跨ぐ高床式の建物がその上にあり、遠くからは 2 階建てに見えるのです。近くで建物の隙間を見れば一目瞭然です。

次は、1 と 3 を組み合
わせてできる 13 です。

すばり十三。淀川を渡っての引っ越し、北野の昭和校舎が誕生した頃、このあたりは十三南之町と呼ばれていました。

13 は西洋などでは嫌われる数ですが、中国の広東語圏では吉数。これは 13 の読み方が、穀物などが実るという目出度い意味に通じることに由来するのだそうです。十三経、すなわち儒家が重視する易經、論語や孟子などの経書の総称にもこの数が登場します。

本校の影響で新北野という地名が誕生。学校の現住所は淀川区新北野 2-5-13。2 も 5 も 13 も全て素数で嬉しいですね。

しかも 13 は、何と 2、3、5、7、11 と数えて 6 番目の素数なのです。

十三商店街では、10 と 3 に分けて「トミー」と呼んで「富み」に結びつけたりしています。13 は、日本人の嫌う 4 と 9 を加えてできる数ですが、2 (フ: 富) と 3 (ミ: 美) の 2 乗の和、結構ありがた一い数。また、マジック好きの私にとってはトランプの数字と密接な数です。

北野にまつわる数の締めくくりは 1924。六稜同窓会が正式に発足したのが 1924 年ですが、 $2^2 \times 13 \times 37$ と素因数に 13 が現れます。しかも 1924 年は、和暦では大正 13 年。ここにも 13 が潜んでいるって本当に楽しいですね。

北野の数にこだわる話は以上ですが、数学の先生がすべてこんな妙なことを考えているわけではないことを申し添えておきます。

最後になりましたが、同窓会会員の皆様には、平素から母校の教育振興と発展のため物心あらゆる面で格別のご支援とご協力を賜りまして、心から厚く御礼を申し上げます。

2 年という短い間でしたが、校長として再び北野に勤めさせていただいたことは誇りです。2011 年(平成 23 年)3 月 31 日をもって私は退職させていただくことになりますが、この日付に現れる数が全て素数というのも不思議な縁。皆様、本当にお世話になりありがとうございました。同窓会の益々のご発展を祈念いたします。

六稜同窓会137周年総会のご報告

備前輝彦（91期）



六稜同窓会 137 周年総会が 10 月 31 日（日）、北野高校多目的ホールにて開催されました。台風 14 号の直撃はまぬがれましたが、不安定な大気のため雨は本降りに変わります。濡れた警備のスタッフジャンパーの碧が深くなるころ、ホール玄関で 12 時より受け付け・グッズ販売が始まりました。悪天候にもかかわらず 49 期から今年会員となった 122 期まで出席者は 247 名となりました。今年度は 91 期（昭和 54 年卒）が当番期として 84 名が参加し、受付、設営、警備、案内、司会、記録・写真、救護などにあたりました。

【第一部 総会】

オーケストラ部による弦楽器の音色がホールを暖かく包み込みます。13 時に司会、富田昌宏総務委員長（78 期）より開会の辞が述べられ、「花の円舞曲」の演奏。濱田利正さん（91 期）も飛び入りで演奏に参加しました。

山本雅弘同窓会会长（71 期）よりご挨拶があり、「それぞれの生活をちょっと離れた、老若男女一

体で、よってたかって状態となった、人生のプラスアルファの場としての同窓会活動」についてのお話と脇田晴子さん（64 期）の文化勲章受章の紹介がありました。

次に、名誉会長・八尾隆校長から祝辞をいただき、北野高校と数の奇妙な関係について、「今回の 137 周年は、137、上二桁の 13、下二桁の 37、両端の 17 がすべて素数です。」などの楽しいお話に会場が湧きます。引き続き、同窓会の活動報告が行われ、新役員の紹介とトークリレーの紹介がありました。

ここで、司会は吉岡邑玲さん（91 期）にかわります。プロとしてだけではなく友人として心を込めた司会をしたいと京都まで出かけ、卓話者の取材をされての登板です。91 期を「91 は素数の 13×7 、つまり十三のラッキーセブンです。」と紹介した後、卓話者の高校時代の秘話の紹介です。

卓話は、光森通英さん（91 期）による「がん治療の質について考える— Patterns of Care Study から垣間見たものー」です。分かりやすいけれど、考えさせられ気づくことの多いひとときを、最後の質問のときまで会場全体で共有することができました。講演後、当時、光森さんにあこがれていたという松岡幸代さん（91 期）からサプライズの花束贈呈がありました。



【第二部 懇親会】

15 時より、懇親会および 122 期歓迎

会が六稜会館 3 階ホールで行われ 240 名が参加しました。今回はホール入り口側階段座席の一隅に、特設ステージが徳岡聰一さん（91期）によって設営されました。当初、この一刻限り、たった一度きりで撤去する約束だったのですが、最初からそこに存在していたのだよという風な周囲に溶け込んだ素敵なお張り舞台ができあがりました。

司会は唐渡たかねさん（91期）と原田雅己さん（91期）です。二人のピアノ連弾で懇親会は幕を開けます。そして、乾杯のご発声を谷本義雄さん（49期）に頂いた後、しばしの歓談となりました。



新会員となった122期、男性1人女性15名が壇に登場すると、きらめきが湧き上がるようです。代表の内田沙也香さんより挨拶があり、歓迎の大きな拍手が送られました。



この後、シンガーソングライター吉田昌代さん（91期）のミニコンサートが行われました。東京六稜総会に続いての登場です。音響機材も吉

田さんの準備です。「人はみな それぞれの違った速度で それぞれの人生を生きている エイジレス 輝いて feeling happy 一日中」たくさんの方がステージに集まり、両手を高く掲げ、手拍子、携帯撮影、ス윙グ、老若男女一体のライブ会場となりました。

そして大抽選会です。1等を引き当てられた藤村研二さん（76期）から、喜びのご感想とラグ



ビーチヘゼひご子息、お孫さんをとの勧誘がありました。また、新会員の122期生も2等、3



等をそれぞれ引き当てました。参加賞は直径75mmのチョコレート。表面にレーザーで137個の六稜の星が刻印されています。このチョコレートは柴田美雪さん（91期）と幹事団長の中松篤志さん（91期）が和歌山まで何往復もし、粘り強い交渉で予算内に収め、今回の配布となりました。チョコレートは、ロビーでも販売されました。

次回当番92期のみなさんが登壇され、代表の住山真一郎さんから決意表明がありました。そして、東京六稜総会でも活躍した佐々木功さん（91期）の指導により全員で校歌「六稜の星のしるしを」を斉唱し、エールを行いました。

閉会は同窓会副会長上田成之助さん（80期）から、「今回の参加者は、91才から18才、実に年齢差73才でこれ素数です。」とのお言葉を頂き、今回の当番、91期が壇に上がります。応援団OBの奥田稔さん（76期）から91期へエールを頂いた後、上田さんの音頭で、全員で万歳三唱をし、楽しく笑って、"それで幸せ"な時を過ごした137周年総会は幕を閉じました。



●六稜同窓会 137 周年総会

【光森通英さんの卓話】

「がん治療の質について考える

—Patterns of Care Studyから

垣間見たものー」

この 30 年間、日本人の死因のトップはがんです。その内容を見るとかつては男女とも胃がんがトップでしたが、近年は欧米的な前立腺がん、乳がんなどの占める割合が多くなっています。現在のがん治療の根本的思想は胃がん治療に基づいて形成されたものなので新しい考え方をする必要があります。



ところで、がんはなぜ起こるのでしょうか。人間の身体には 60 兆個の細胞がありますが、すべて単一の設計図、DNA からできています。DNA はコピーを繰り返しますが、年を取ってコピー回数が増えると、設計図の間違いが増えていきます。このため年を取るとがんになりやすいのです。毎日数千個のがん細胞が生じますが、すべてががん化するわけではなく、免疫システムによりがんがやっつけられています。このバランスがくずれるとながんが発病するのです。

では、がんが治るとはどのような状態でしょう。体中からがん細胞がひとつもなくなれば、治ったと言えますが現実には確かめることが不可能です。そこで、初回の治療から一定期間再発・転移がなければ治ったと考えます。この期間は 5 年が目安です。振り返ってみれば治っていたというのが、がんと他の病の大きく違う点です。

がん治療の三本柱は、手術、放射線治療、化学療法です。これらの治療にはそれぞれ、長所と短所があり、どのように組み合わせれば、最大の効果で最小の副作用があるのか、また QOL、つまり治療後の生活の質の高さを考えなくてはなりません。

標準治療というものがあります。これは、現時点で最も目標を達成する確立が高い治療で、碁や将棋でいう定石に相当し、誰がやっても効果が期待できる治療です。

医療の質は、装置、医療従事者数等の Structure、治療法等の Process、生存率や QOL の Outcome で決まります。しかし、巷にある多くの「いい病院」のランキング本は Structure のみで評価してい

たり、手術数や治療成績もデータの取り方に問題があります。

全国の放射線がん治療の実態調査を行いましたが、標準治療と差のある治療を行っている病院が多くありました。調査結果は病院に返していますが、改善は病院が自主的に気づいて実施してもらうしかありません。また、最近は個人情報保護法のため調査がたいへん難しくなっています。

治療後の生存はしっかりした追跡調査ができるとい信頼できるデータが出ません。そのため欧米で法制化されている「がん登録」という制度を日本でも取り入れることが必要です。「がん登録」は、罹患状況を知り、治療の最も重要な結果である「生存率」を正確に決める唯一の手段であり、最後に欠けているパズルの駒です。「がん登録」は私たちが生きている間には利用できないでしょうが、私たちの子孫によりよい治療方法を残すために、ぜひ法制化に向けて支援をお願いします。

《質疑応答から抜粋》

Q 患者として最も良いがん治療を受けるにはどうしたら良いか。／A 治療を受けるときに重要なのは、後からは戻れないということ。最初の治療を受けるときに十二分に情報を集め、専門医のセカンドオピニオンも二人ぐらいは受けた方が良い。患者さんの中には「切りたくない」という思いが強く、そう言ってもらえるまで何回も先生を変える人もいるが、もしも 3 人に切らないといけないと言われたらそれは本当に切った方が良い病気。命が助かるためには、大事なものを捨てないといけないときもある。そこをどう割り切れるかが大事。

Q がん治療を受けた後、身体の免疫力を落とさない、あるいは強化するために生活習慣は、かなり気をつけないといけないのか。／A 一旦がんになってしまった後に生活習慣を色々いじってもそんなに差はない。きちんとした治療を受けたら、その先自分にできることはないと開き直って、楽しく笑って生きるということを自分は実行している。



【光森通英さんのプロフィール】

京都大学医学部医学科卒、京都大学大学院医学研究科博士課程修了。京都大学大学院医学研究科助手、米ハーバードメディカルスクール客員助手を経て、現在は京都大学大学院医学研究科准教授。専門はがんの放射線治療。乳がん、食道がんの患者さんを多く担当している。

がん医療の「均てん化」に関する研究に従事し、乳がん診療ガイドラインの策定にも関わった。切らすにがんを治す放射線治療の特長を生かし、高い QOL を維持したがんの治療を目指している。

◎トピックス

いやー参った、というのが正直な実感です

六稜同窓会 会長 山本 雅弘 (71期)

前会長の竹中くん、現会長の勝又さんとも、頭脳明晰にして理路整然、それでいて若いのに(!)それとなく年寄りをおもんぱかる余裕さえ感じさせられました。自分が現役の高校生だった頃のことを考えるといささか恥しい思いで、“近頃の若いヤツは・・・”などという考えは吹っ飛んでしまいました。と同時に、大いに考えさせられるところが多々ありました。



会則にも謳っていますが、我が六稜同窓会は、会員間の親睦をはかるとともに母校の発展に寄与することを目的としています。従って、現役の生徒や学校に対する物心両面でのたゆまぬ応援や、不斷の交流が大きなテーマです。

たしかに、これまでそれなりの応援はしてきました。生徒の対外的な活動支援はその一例です。最近の事例では、近畿大会で走幅跳びに入賞し、全国大会に出場した生徒に対して激励金を贈ったり、活発な活動を続ける吹奏楽部に助成金を贈るなどしています。吹奏楽部はこれまで大阪北地区では金賞をとっていますが、今年度は全大阪大会で、創部初の金賞に輝きました。同窓会館で猛練習を重ねた成果

です。このところ同窓会の総会やトークリレーなどの集会には吹奏楽部、オーケストラの皆さんが出発してもらっています。

このように現役の皆さんと同窓会の接点は、それなりにはあります。

しかし、今回新旧2人の生徒会長に直接会って話してみると、現役の生徒諸君にとって同窓会はまだまだ遠い存在なのだと実感しました。

ところで、今回の出会いはFR委員会のアイデアで実現しました。この委員会は若い人たちで構成され、「行列のできる就活相談所」や「はじめての同期会」といった企画を運営、サポートしています。同窓会をたくさんの老若男女が寄ってたかって“人生のプラスαの場”にするために、その“若男女”的部分を担ってもらっているのですが、そのもっとも若い層である現役の生徒諸君とどうつながっていくかは、大きなテーマといえます。

むろん、FR委員会だけではなく、同窓会全体としてどう学校と連携し、応援していくか、これからさらに議論を深めていかねばなりません。会員諸氏からも、どしどしアイデアやご意見をお寄せいただければ幸いです。



山本会長が生徒自治会を電撃訪問、現役生と卒業生のトップ会談!!

FR委員会 副委員長 松岡信道（111期）

「寄ってたかって同窓会をもりあげよう」をキヤッチフレーズに山本同窓会会长の2期目がスタートしました。「寄ってたかって」とは言っても、まさか現役生も巻き込んでいくなんて、同窓会役員の誰も想像しませんでした。

11月22日15時15分、山本会長が生徒会室を訪問。前期生徒会長の竹中一真くん（2年生）と



後期生徒会長の勝又晴日さん（1年生）が出迎えてくれました。北野高校では生徒会選挙が行われたばかりで、新旧の生

徒会長である2人が緊張した面持ちで応対してくれました。生徒会室では生徒会新聞や生徒会年誌を見ながら、竹中会長が生徒会の現状をお話してくれました。竹中会長が生徒会長になる時は、30年ぶりに生徒会選挙が決戦投票となり、100票差で竹中会長をはじめとする立候補団が信任されたそうです。

立候補団というのは聞きなれない言葉ですが、北野高校の生徒会選挙は伝統的に政権選択選挙という形で行われています。いわゆる会長候補、副会長候補というのではなく、生徒会をやりたい生徒が同志を集めて立候補団となり、当選したら団の中で会長、副会長などのポストを決めます。これまで30年間は單一グループの立候補しかなく、信任投票であったそうですが、二期つづけて勝又会長の選挙も決戦投票となっており、選挙戦が終わったばかりの勝又会長は、興奮さめやらぬ様子で選挙のしくみをお話してくれました。山本会長もはじめて生徒会選挙の仕組みを知り、真剣にお話を聞いておられ、「僕らの時代もそうやったんかな？」と笑いながら、「高校生の時から政権選択をしているんやね」と感心されました。

場所を同窓会館の会議室に移し、トップ会談がスタートしました。自己紹介をするうちに竹中会長、勝又会長の緊張感もやわらぎ、はっきりと自分たちの考えを話されました。山本会長が「現役生にとって同窓会はどんなイメージですか？」とお尋ねになると、竹中会長は「六稜会報はもらう

けれども、私たちには関係ないですね」、勝又会長も「六稜会館には入ったことがある程度です」と答えました。二人の率直な意見は同窓会役員には耳が痛いものでしたが、同窓会と現役生とのつながりがほとんどなく、現役と卒業生のつながりは部活動に依存しているところが大きいことがわかりました。山本会長は「部活動に参加してなつたり、先輩とのつながりが薄い部活動にいる現役生は同窓会とつながる機会がないわけやね」としみじみと感想を述べられ、原則毎月第一土曜日に行われている六稜トーキリレーの案内を手渡されました。現役の両会長は「私たちも参加していくんですか？」「mixiの社長も来てたんですね！」と興味を示し、勝又会長からは「できたら生徒会だよりでも紹介します」と嬉しい言葉をもらいました。

最後に、山本会長からは「現役生からどんどん同窓会に提案してください。ぜひ一緒に何かやりましょう。」と声をかけられ、両会長から「はい！」とすがすがしい返事とともに「（トップ会談を）またやりたいです。」と前向きな姿勢を示してくれました。トップ会談は終始笑顔で行われ、次回に繋がる第一回目として成功裏に終わりました。

FR委員会の副委員長として事務方をさせていただきましたが、在学当時は私も生徒会長でしたので、自分の時もこんな機会があつたらよかったですになあと羨ましく聞いていました。現在FR委員会では「行列のできる就活相談所」をはじめ、22歳で「はじめての同期会」の運営などを行っています。皆様の同窓会参加をお願いしますとともに、現役生が「同窓会と何かやってみたい！」と思えるような「寄ってたかって状態」を創り出せるように努めていきたいと思います。



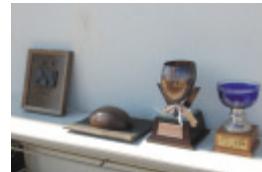
第87回北野一天王寺ラグビー定期戦

蜷川 善夫 (85期)



果は出せませんでした。

ただ選手はまだまだ未熟ながらも、相応のしっかりしたプレーを見せてくれ、特に前半に見せたBK攻撃は、来年以降に期待を抱かせるものであったと思います。



双方のヤングラガーメンが持てる力を振り絞り、駆けつけた大勢の観客に清々しい印象を与えてくれた試合でした。

試合後はグランド近くのレストランで双方のOBを交え、アフターマッチファンクション（試合後の選手交歓会）が開催されました。ファンクションは、日曜日にもかかわらず激励に駆けつけていただいた竹内教頭先生のご挨拶に始まり、双方のキャプテンから「3年間ラグビー競技を続けてこられたことを誇りに思う。」との発言とともに伝統の一戦の継続とお互いの切磋琢磨を誓い合うコメントが発せられ、和やかなムードのうちにお開きとなりました。合同チームでの試合が続き、久しぶりの単独のファンクションであったためか、締めくくりのエールの交換では少しぎこちない面も見せた北野生でしたが、今後の修練に大いに期待をしたいと思います。

OB会である六稜ラガークラブは物心両面で現役をサポートしています。OBにとって現役諸君の活躍こそが何よりの喜びであり、また大きな希望もあります。創部90周年の2013年へ向けて、現役諸君のますますの充実した活動を願ってやみません。



▲エール交換

平成22年10月17日(日) 14:00 キックオフ
(20分ハーフ)

【試合結果】

北野高校 0 – 46 天王寺高校 (前半 0 – 24)

大正12年春、北野中学（当時）にラグビー部が創設され、その翌年の大正13年1月に、天王寺中学（同）との間で最初の定期戦が行われました。以来この定期戦は、戦時中を除いて一度も途切れることなく連綿と引き継がれており、このことにより、両校は、昨春、大阪府ラグビーフットボール協会の創立80周年記念行事において、表彰を受けています。

数えて第87回目になる伝統の定期戦は、晴れ上がった絶好のラグビー日和の下、大阪ガス今津総合グランドで行われました。

北野は近年、部員不足で15人のラグビーができるないため、他校との合同チームを編成して活動しています。このため、昨年はやむなく試合を見送りましたが、今年は部員の増強にも力を注いだ結果、13人制という変則スタイルではあったものの、学校側のご協力、顧問の先生の尽力もあり、何とか伝統の試合の継続にこぎつけることができました。

試合の内容については、北野は経験の少ない1年生がメンバーの過半を占め、なおかつ本来BKの選手をFWにまわす布陣を強いられたために、終始劣勢でした。天王寺は北野の弱点であるセットプレーを優位に支配し、サイドを執拗に衝いてディフェンスの崩れ誘う作戦を徹底、北野はこれに対応できずにトライを重ねられ、残念ながら結

Party Reports 1

●8回目のバス旅行

片山 義康 (69期)



69期では錦秋の11月14日と15日、岡山県の「後楽園」～広島県の「安芸の宮島」～呉市の「大和ミュージアム」をバスでたどる1泊2日の旅を楽しみました。

新大阪駅前からは34名が出発、バスの中では丁度10年前の懐かしい飛騨高山へのバス旅行のビデオを見たりしながら過ごし、岡山駅前では東京、福岡、島根、広島から駆けつけた10名が合流、先ずは日本三大名園の一つ「後楽園」の入り口での昼食で、再会を祝いながら岡山名物“祭りすし”を頂いた後は、薄曇で丁度よい気温の中、後楽園では婚礼の花嫁花婿にも遭遇、また着物イヴェントの着物姿を多く見かけつつ散策し、烏城を背景に写真を撮った後、広島の宮島へと向かいました。

フェリーで着いた桟橋では、ホテルの番頭さんかと思わず間違えそうになった（前日から別件で広島に来ていた）北橋忠宏君がホテルの小旗を手に出迎えてくれました。宮島着が多少遅くなつたので、厳島神社に入れなくなるのではと心配しましたが、日も沈み満潮が引き始め、周囲の石灯籠に灯が入った赤い鳥居の神社を参拝することが出来ました。

宮島のホテル“有もと”（このホテルは約400年の歴史を持つ）で夜の宴会となり、ここではるばる沖縄の出張から馳せ参じた清原祥恵さんが参

加、総勢46名の宴会となり、乾杯は元海上自衛官の磯川彬君、彼の春の叙勲を全員でお祝いして宴は始まりました。熟達の上原道子さんの手品、北川勝基君の洒脱な川柳を交えた至芸で大いに盛り上がりました。

翌朝は、地元・広島在住の中元弘之君の解説を受けて、宮島の名所である紅葉谷公園、大願寺の五重塔などを散策、赤、黄、緑などが見事に織りなす光景を満喫して宮島をフェリーで出発、広島

原爆ドームを車窓より見学して呉へと向かいました。

呉の「大和ミュージアム」に到着、映画に使われた戦艦大和のモデルや特殊潜航艇“海龍”、人間魚雷“回天”的現物など、戦時を思い起こす展示物を見た後、名物の「かき」の炊き込みご飯を堪能し、ミュージアムの隣の「鉄のくじら館」では、平成16年に退役した潜水艦“あきしお”的展示を専門家の磯川君の解説で見学、これを最後に帰路につきました。

途中、新幹線で帰る人、空路で帰る人を見送り、車中では黒岩正幸君の友人が製作した珍しい鳥の声のCDを聞きながら、残りのお酒を堪能、無事に大阪へ帰着しました。

幹事肝いりの広島の「おたふくのお好み焼きソース」のお土産を手に、“また元気に次回もやろう”と言いつつ散会致しました。

●平成22年度70期同窓会報告と雑感

高田 早智子 (70期)

史上稀ともいえる酷暑を乗り切って、ようやく涼風を感じるようになった平成22年10月16日、平成22年度の70期同窓会が大阪市北区堂島に所在する中央電気倶楽部において開催された。

70期の同窓会は、9クラスのうち順次2クラスづつが幹事クラスとなって、毎年開催される。内容は懇親会を中心に、それぞれ当番クラスがオプショナルメニューを企画する。したがって幹事クラス以外は、次回はどのような内容なのかと期待する。当年度幹事から引き継ぎを受けた次年度幹事は約1年をかけて会の準備をする。

平成22年度のメニューは、中央電気倶楽部における13時からの本会に先駆けて、オプションウォーキングとして午前10時に環状線の「天満駅」に集合し、天神橋筋商店街を南下して「天満宮」を経、「熊野古道」大阪出発点から「適塾」、淀屋



●第22回六稜クラブ対抗ゴルフコンペ 卓球部 中松 篤志 (91期)

平成 22 年 10 月 3 日 (日)、恒例の第 22 回六稜クラブ対抗ゴルフコンペが、前回優勝の卓球部の幹事のもと三田カントリー 27 でとりおこなわれました。

参加クラブは、野球部 (6 名)・バスケットボール部 (8 名)・バレーボール部 (5 名)・陸上競技部 (6 名)、卓球部 (9 名)・混成チーム (7 名) で、6 クラブ・41 名の参加者が途中の降雨にも負けず、最後まで楽しくプレーをおこないました。

優勝は卓球部が 2 連覇を果たし、準優勝がバスケットボール部、3 位が陸上競技部でした。新ペリア方式による個人戦の優勝は、柴田英二さん (卓球・73 期) が、準優勝は山本雅弘同窓会会長 (混成・71 期) が獲得されました。また、ベストグロスは、スコア 86 で柴田英二さん (卓球・73 期)、竹村哲也さん (野球・88 期)、山口哲男さん (陸上競技部・95 期) の 3 名が並ばれましたが、最高齢の柴田英二さんが獲得され、個人戦、ベストグロス、チーム戦の 3 冠を達成されました。

今回幹事をさせていただきましたが、ほとんどの準備を事務局にしていただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

次回は平成 23 年 9 月 25 日 (日) 三田カントリー 27 にておこなわれます。卓球部は 3 連覇を目指して頑張ります。



今年の期別対抗ゴルフコンペのお知らせ

第 22 回六稜期別対抗ゴルフコンペは
2011 年 7 月 31 日 (日)
三田カントリー 27 で開催予定です。

今年のクラブ対抗ゴルフコンペのお知らせ

第 23 回六稜クラブ対抗ゴルフコンペは
2011 年 9 月 25 日 (日)
三田カントリー 27 で開催予定です。

橋から中央電気俱楽部へと約 5km を 20 名が歩いた。

本会においては、飲食開始前に同期生の山本智英氏 (内科医) によって「脳科学のトリビア」と題する卓話が行われた (トリビアとは雑学の意)。15 分から 20 分という短時間であったが、同氏の卓越した能力によって難解な脳の構造について「音楽と神経科学」「AINシュタインの脳」に視点をおいて、易しく、わかりやすく語っていただいだ。私など理解すること半分としても、面白く興味を抱いて拝聴した。その後飲食懇談に移り、懐かしい面々と声高に語りあい、16 時近く例年のしきたりである校歌齊唱、大谷健二氏のエールをしめ、閉会した。そして出席者の 8 割方は二次会会場である大阪駅前第 1 ビル B1 の「キングオブキングス」へ流れ、青春時代の友らとの語りつきない歓談が続いた。

70 期では毎年恩師をご招待する。本年も浜田先生、今中先生、野々村先生のお三方にご出席いただいた。先生方も生徒に負けない健在ぶりで、けっして老いを感じさせない凜とした気風を感じさせてくださった。さすがに北野高生を教えられた方たちだと感じ入った次第である。

70 期同期生の特色は結束の固いことが言えると思う。この原因となるのが第一に毎月のハイキングだと思う。還暦を迎えた平成 11 年に記念行事として白馬岳に登山したことがきっかけとなり、その後毎月、ハイキング、登山を続けて現在に至る。10 年以上、回数にして 140 回を数える。関東在住者も年に数回は歩いているようである。その上毎年 1 回の海外旅行、春秋のゴルフの会と、60 歳以後これほど密に同期生との接触を持つことは卒業当時だれが想像しえただろう。こうしたことが年 1 回の同窓会をも活気づけ、毎年 90 名近くの出席者を迎えるのである。

平成22年度 六稜会館催事委員会活動報告

会館催事委員長 德岡 浩二 (92期)

六稜トーコリレーにご参加ください！

毎月原則第一土曜日の午後2時から、六稜魂を再確認し誇りを共有するひととき。会館3階のホールにおいて各界で活躍する六稜人が講師となり聴衆となって楽しい空間を創出します。すでに毎月のこの時間を欠かさずご参加いただいている方々も多くなりました。山本会長のもと「みんなで創り参加する同窓会」を体現する場でもあります。

4月10日現役生による春の演奏会に音楽家、香取由夏さん@109期が共演し「音楽家の試練と情熱～心に届く音楽のために」と題して夢と志を語りました。5月8日には馬場桂一郎さん@75期が「もう一つのオリンピック～スペシャルオリンピックス」の活動を紹介。6月12日は、三善英知さん@92期が「将棋と医学研究の接点」で、人類の命と健康を守る研究の日々を、例年、戦争と平和をテーマとしてきた8月7日には辰巳知行さん@99期が「平和構築の現場で」奮闘してこられた活動を報告されました。9月4日には小久見善八さん@76期が国際技術競争の最前線で話題の「二次電池の発展とグリーンコミュニティでの役割」をわかりやすくお話しいただき、10月2日は、芦田譲さん@74期「21世紀は資源争奪の時代」と題して、海洋資源探査の方法や現状、周辺各国の変貌と我国の取り組みについてお聞きし

て、国民としての関心を高めていく必要性を痛切させられました。11月6日は辻ひろ子さん@79期が朗読とトークで森繁久哉さんの思い出を語られた「読み語り『夫婦善哉』」。12月4日には加地伸行さん@67期「儒教と家族葬」日本人の宗教観、人生における価値観について問いかけ、伝統文化の基礎としての思想、考え方について楽しく、わかりやすくご講演いただきました。

新年1月は脇田晴子さんの文化勲章受章記念を祝う特別講演となりました。200人を超える人々が集い脇田さんの業績に、特に「人と違う研究を極める」北野の遺伝子を感じられたことでしょう。新年度からは各期理事の皆さんのが委員に加わることになりましたが、催事委員会ではそれに先駆けてこの慶事からご参加いただきました。

新しいメンバーには各期の皆さんの見覚えのある顔ぶれもきっといらっしゃることでしょう。どうぞ気軽にトーコリレーにご参加ください、そしてお話しください。日常生活や仕事で疲れた時、迷った時、希望に満ちた学生時代を思い出し、明日への活力を呼び覚ましてくれることでしょう。同窓会はいつも開かれ、皆さんの参画をお待ちしています。



11/13（土）FR委員会スペシャルイベント 「六稜若手交流会＆行列のできる就活相談所2010」報告

昨年より始まった「六稜若手交流会」と5年目となる「行列のできる就活相談所」が合体したイベント「六稜若手交流会＆行列のできる就活相談所2010」が11月13日に開かれました。今年は社会人13名、学生69名に参加いただき、活気ある交流が広げられました。

【六稜若手交流会】

13:00～15:00@六稜会館3階ホール

社会人のみが集まり、普段話す事の少ない他業種との仕事の話や高校時代の思い出の話をしました。今回は時間に余裕があったため、各人が1人1人とじっくりと話せたため、有意義であったとの声が聞こえてきました。

【行列のできる就活相談所2010】

13:00～15:00@北野高校多目的ホール

就職活動中の学生は社会人と内定者の先輩に「働く」ことについてインタビューを行い、発表しました。インタビューだけではなく、発表することが難しかったとの声もあがっていました。また、高校の先輩だからこそ聞ける秘話もあったようです。

【六稜若手社会人＆学生交流会】 15:00～17:00@六稜会館3階ホール

社会人と内定者、学生が合流し、全員での交流会が行われました。仕事だけではなく、プライベートの話、趣味の話など同じ高校の先輩後輩だからこそ話で盛り上りました。

【懇親会】

18:00～20:00@がんこ

まだまだ話しきりない人たちが集まり、懇親会を開きました。酒の席でしか聞けない話も多々出てき、かなり盛り上がった会になりました。

【参加者からの声】

112期 匿名

第一部の若手異業種交流会は参加者20人くらいとややこぢんまりとした規模ではあったが、参加者の業種は多種多様で非常に幅広かったため話のネタに尽きることなく、また一人一人とじっくりと話すことができ、時間が経つのを忘れるくらい有意義に過ごすことができました。特に普段は部屋で1人、多くても数人で仕事することが多く、他業種の方と関わることが少ない私にとっては、自分にはない職業観や仕事への姿勢を肌で感じ取



ることができ、貴重な経験をすることができました。

第二部として開催された、就活相談会は社会人の数も倍以上の参加があり、その数を大きく超える就活生の参加があつたことは、今の就職難を悲しくも物語っているのかもしれません。会が始まるとすぐに、各ブースでは就活生が熱心に先輩方に質問をし、先輩の社会人もその熱意を受け止め、経験談を熱く語っている姿は、北野高校の繋がりの深さを強く垣間見た光景でした。

その後の懇親会ではまだ話しきりない社会人・就活生がざっくばらんな会話があちらこちらで聞こえ、盛り上がりは1日中続いていました。

このような盛会となったのも、ひとえに実行委員の皆様のご尽力によるものである。会の参加者を代表して感謝の意を表させていただきます。





120期 益岡 咲百合

私は、第一部から第三部まで全て参加させていただきました。第一部では、インタビューをするだけでなく、隣の班に発表するということで難しかったけれどためになつたと思います。自分が聞いた内容を相手に分かりやすく伝えることは思ったより難しいと気づきました。第二部では、たくさんの社会人の方と短い時間で はありましたが、ざくばらんに話すことができました。そのような機会はなかなかないのでとても貴重な経験でした。企業がやってくださるセミナーでも社会人との座談会はあったりしますが、北野のOB・OGさんにだからこそ聞けることなどもありました。企業セミナーでは会社の悪い部分は隠してしまっている部分もあると思いますが、この会ではいい面も悪い面も知ることができたのがすごくよかったです。第三部ではぶっちゃけ質問会もあり、社会人の方が気になることをぶっちゃけてくださいり、とても楽しく社会勉強ができました。また、久しぶりに120期の同窓生に会うこともできて嬉しかったです。行列ができる就活相談所は今後の就職活動に役立つことまちがいありません。本当にありがとうございました。



118期 足立 康春

行列ができる就活相談所というイベントに内定者として参加させていただきました。リーマンショック・100年に1度の大不況・内定の無い若者たち。



北野にはそんなものの関係ないよ、と言って安心させてあげたがったのですが、私は先月までもれなく内定の無い若者たち。

者でした。私の就職活動失敗要因・そこからの復活劇をメモしている就活生の眼差しは真剣そのものでした。



このイベントは文系3回生を対象としていると思っていましたが、理系や1.2回生の学生も数多くいました。将来への飽くなき向上心というよりかは、俺このままでいいのか!?という不安を持っている印象を受けました。泥の浪人生時代に夢見た大学生活を華やかなキャンパスライフに昇華できず悶々としているのでしょうか。わかりますよ、その気持ち。

もはや学歴が幸せに直結しない世の中。ならばあのオリジナルとにらめっこをした日々は一体何だったんだろう。しかし、今回のイベントで数々の内定者・社会人と出会い大いに実感したことは、北野OB・OGはなんやかんやで内定を獲得し社会でバリバリ大活躍されているということです。

なるほど北野高校は、学歴を獲得することよりも、社会人として大切な人格を醸成するための場だったのかもしれません。鬼数学教師陣はオリジナルを通じて、数学知識はもちろん、粘り強さや優秀な人との人脈作りを鍛えてくれいたのですね。その養い方、すごくオリジナルで斬新だと思います!!ということはあの縄跳びや寒空の下走った日々も、そういう意図があったんですか、体育教師の方々??

北野高校での3年間の努力が真に実を結びだすのは、就活期からかもしれません。就活生、就活するか悩んでいる大学生、オリジナルのB問題に悩んでいる現役生。みなさん頑張って下さい、OB・OG一同応援しています。



※ FR委員会では、今後も若手会員のためのイベントを開く予定です。最新情報は随時六稜同窓会HP (<http://www.rikuryo.or.jp>) に掲載します。お楽しみに。

六稜トークリレー Rikuryo Talk Relay

<http://rikuryo.or.jp/talkrelay/>

日 時★原則、毎月(第1)土曜日
13:30開場 14:00開演(約2時間)
会 場★六稜ホール(六稜会館3F)
※1Fロビーも同時使用可
会 費★500円(お飲み物を準備しています)
主 催★六稜会館催事委員会
共 催★各期同期会 or クラブOB/OG会など

第81回 脇田晴子さん@64期
「日本史をめぐって? 商業史から都市論、そしてジェンダー論へ」
第82回 紙谷章弘さん@105期
「予防医学の観点から? 精神障害者の脱施設化と家族の心理教育の有用性」
第83回 霽井通真さん@70期
「梶井基次郎生誕110年に寄せて? 病的なまでに鋭敏な感覚とその表現をたどる」
第84回 清水信年さん@102期
「商品企画で伸びる大学生? 就職率6割時代の実学教育」
第85回 茂松茂人さん@83期
(大阪府医師会副会长、茂松整形外科院長)
「日本の医療はどうなっているの?」
第86回 本出 肇さん@90期
(大阪市北区医師会副会长)
「高齢化社会における在宅医療について」
第87回 岡田春夫さん@84期
「納豆文化vsポップコーン文化 (契約観及び訴訟観の国際比較)」
第88回 中原充雄さん@60期
「旧真田山陸軍墓地について(仮題)」
第89回 矢守克也さん@93期
(京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授)
「(演題未定)」



東京六稜俱楽部

<http://rikuryo.or.jp/tokyo/rikuryo-club/>

毎月第3水曜日★日 時
11:00開場 11:30開演(約2.5時間)
ライオン銀座クラシックホール★会 場
(銀座ライオンアーツ店6F)
2,000円(ランチバイキング付)★会 費
東京六稜会★主 催
山元一夫@64期 / 松本邦宏@70期★事務局

22日 2011 1月 January	19日	第97回 松田道男さん@77期 「英語と日本人」
5日 2月 February	16日	第98回 田中 寿さん@67期 (元 鉄道総合技術研究所) 「リニアモーターカーの開発」
5日 3月 March	16日	第99回 木邑 正さん@76期 (新日本製鐵株式会社OB) 「中国とのこれからのお付き合い」
9日 4月 April	20日	第100回記念 岡村喬生さん (オペラ歌手) 「翔け世界へ、正しい蝶々さん」
7日 5月 May	18日	第101回 賀好弘志さん@78期 (前 三井農林株代表取締役社長) 「お茶百話」
4日 6月 June	15日	第102回 佐藤公紀さん@87期 「プロードバンドを支える 光ファイバーの歴史」
2日 7月 July	20日	第103回 堤 興亞さん@71期 (元住友建設常務取締役) 「海外工事・こぼれ話」
6日 8月 August		
3日 9月 September		

六稜文庫

(1月末までのご寄贈)

<http://rikuryo.or.jp/books/>

中正 敏(46期)著『いのちの籠・拾遺』
鈴木 宏(53期)著『神をおそれて 思いもかけない我が人生』
たかのてるこ(101期)著『サハラ沙漠の王子さま』『モロッコで断食』『モンキームー
ンの輝く夜に』『淀川でバタフライ』『ダライラマに恋して』『キューバでアミーゴ!』『お先、真っ白』
松岡憲司、北野裕子共著(81期)『地域産業とネットワーク 京都府北部を中心として』
檜川哲次(67期)編集『新思い出のダブルダムー』
編集部編(85期)著『日本の聖域(サンクチュアリ)』
三島佑一(60期)著『大阪オーラ 日本を予見する日本のハート』
阪本 勝(30期)著『佐伯祐三』
福井栄一(97期)著『1分間で読み聞かせ 子どもが夢中になる「ことわざ」のお話100』
内海正三(80期)著『沖縄からコスタリカへ 平和憲法とエコツーリズム』
中正 敏(46期)著『燃える野田藤』
杉尾伸太郎(67期)著『フランス式庭園の魅力とル・ノートルの世界』
宮本和樹(119期)著『零度』
高倉明子(現職期)著『花日誌』
井上 次(107期)著『仕事熱心な物体』
福井栄一(97期)著『かわいいだけがサギじゃない~むかしばなしのサギたち』
大山利雄(56期)著『俳句の仲の八百万神』
脇田 修、脇田晴子(64期)著『物語 京都の歴史~花の都の二千年』
宮端清次(65期)著『はとバスをV字回復させた社長の習慣』

六稜カルチャー講座のお誘い

【講師】万葉に親しむ 山崎 騒先生
英文学名作の旅 佐野哲郎先生

3月 25日 (第4金曜日) 万葉に親しむ
4月 22日 (第4金曜日) 英文学名作の旅
5月 27日 (第4金曜日) 万葉に親しむ
6月 24日 (第4金曜日) 英文学名作の旅
7月 22日 (第4金曜日) 万葉に親しむ
8月 26日 (第4金曜日) 英文学名作の旅
9月 30日 (第5金曜日) 万葉に親しむ
10月 28日 (第4金曜日) 英文学名作の旅
11月 25日 (第4金曜日) 万葉に親しむ
12月 16日 (第3金曜日) 英文学名作の旅
各講座とも 2 時より開始。
会 費 ¥500

六稜Webリニューアル

同期会、クラブ OB・OG 会の投稿ページを作りました

広報委員会 千種 康一 (88期)

昨年3月の六稜WEBのリニューアルにより、会員の皆様や同期会・クラブOB会・OG会の皆様にも投稿して頂けるような六稜WEBを目指して参りました。

つきましては六稜WEBへの投稿規程を作り、六稜WEBのトップページから入れる同期会・クラブOB・OG会の投稿ページをスタート致します。

現在先行でお申し入れのあるところからアカウントの交付、マニュアルの送付を始めています。

まずは下記六稜WEB投稿規程をご確認、ご同

意頂いてから六稜同窓会までアカウント交付のお申込みをお願い致します。

投稿規程、マニュアル、アカウントのご不明点やご質問には広報委員会WEB部会にて対応して参りますのでよろしくお願い致します。

広報委員会には今年より学年理事から10名の方に加わって頂きました。広報委員会には会報発行の会報部会、六稜WEBのWEB部会が有りますので、お時間、ご興味のある会員の皆様にも是非ご参加、ご協力をお願い致します。

六稜Web投稿規定

第1条 目的

本規定は「六稜同窓会Webページ」の会員投稿ページへの投稿規定を定める。

第2条 投稿管理

1 投稿の管理は同窓会が行う。

第3条 投稿資格取得

1 投稿するものは六稜同窓会の会員でなければならぬ。

2 六稜同窓会の会員でないもので1名以上の六稜同窓会理事の推薦があり、同窓会が承認した場合は投稿できるものとする。

3 投稿する者は「ID」「パスワード」を申請して承認を受けなければならない。

4 「ID」「パスワード」を申請する者は会費を納入していかなければならない。ただし、同窓会会員で会費免除になる者、および同窓会会員でない場合で投稿を許されている者はこの限りでない。

5 申請の受付や承認あるいは取消はすべて同窓会が行う。

第4条 投稿範囲

1 投稿できる範囲は別途別の規定で定める。

第5条 投稿規定

1 下記の投稿は禁止する。

- ・個人や団体の人権を誹謗するもの
- ・個人情報を取り扱うもの
- ・宗教等の布教
- ・選挙を含む政事活動
- ・個人や企業の販売を目的とした宣伝
- ・六稜同窓会とはいかなる関係のない内容
- ・公序良俗に反するもの
- ・著作権法に違反するもの
- ・法律で禁止されている行為

・その他不適切と判断されるもの

・同窓会の指示に従わないもの

2 前記の規定に触れると判断された投稿を発見した場合は、同窓会は投稿者に連絡無く、直ちに削除する。

第6条 投稿資格の消滅

1 下記のいずれかに該当する場合は投稿者としての資格を失うものとする。

- ・物故者として事務局に届けがあり、六稜会員でなくなった者
- ・投稿規定に著しく違反をし、改善の余地がないと判断される者
- ・会費の納入が滞った者
- ・第3条の2の規定により六稜関係者として承認を受けた場合で、もはや投稿の必要性がなくなった者

2 投稿資格を失った者に対しては、同窓会はただちにその「ID」と「パスワード」を削除しなければならない。

3 同期会あるいはクラブとして投稿資格を取得している場合にその管理者が上記規定で資格を失った場合、ただちにその代替者を指名しその旨同窓会に届けなければならない。

第7条 投稿内容の使用権

1 投稿した内容の責任はすべて投稿者にあり、同窓会は一切の責任はないものとする。

2 同窓会は、投稿した内容の一部あるいはすべてを、投稿者の許可無く使用することができる。また投稿者は投稿する時点で同窓会がその使用者の権利を認めたものとする。

3 同窓会は投稿した内容を使用する際に、投稿者の意図を変更しない範囲で内容の一部を変更することができる。

第8条 当規約の変更

1 当投稿規定は、同窓会理事会の承認によって変更できるものとする。

日本史研究に新風を！

～文化勲章受章記念講演より～



歴史の分野では、女性初の文化勲章受章者となられた脇田晴子さん。

女性研究者のリーダーとして、常に真摯に学問に取り組んでこられました。今回の受章は、国の文化行政において女性が正当に評価された証、そして多くの女性研究者に勇気と希望を与えたのではないでしょうか。そんな脇田さんを、広報委員会による取材と、記念講演のレポートでご紹介します。

(松田典子@95期/中嶋明子@106期)

ほめて育てよ！

～研究者として、妻として、母として～

記念講演に先立ち、当日は午前中より広報委員会の取材に、快く応じてくださいました。

64期の女性は、みなさん大手前から移籍された方ばかり、と思い込んでいましたが、他府県からの転入生もいらっしゃいました。

西宮のご実家から兵庫県立第一神戸高等女学校に通学されていましたが、大阪府より一年早く始まった兵庫県での新制高校発足、学区制の導入により、西宮高校へ進むことになりました。同様にして県立第一中学校から来た男子生徒たちは、血氣盛んなお年頃、新制高校、転入への不満などもあり、勢い瀟洒高校へ。まさかついていくわけにもいかず取り残されて困った脇田

さんは、お友達と共に新制高校実施移行期であった大阪に、転入先を求めました。高校一年生の冬休みのことです。最初に向かわれた天王寺高校では門前払い。次に北野高校へ。応対された当時の鈴木教頭先生（チリヤン）は、初めはつれない態度でしたが、県一高出身であると告げると豹変（？）、転入試験をするので受験するようにとのこと。在学中の知人に教科書を借りて猛勉強、見事合格、転入を果たされました。この時期は、新制度の移行措置として、随時転入生を受け入れていました。

活気ある北野での高校生活。男子生徒が“校長排斥運動”を繰り広げるなか、脇田さんは、数学では『因数分解の神様』と呼ばれるほどの実力を持ち、幼いころから親しんでこられた能楽のおかげで古文はお手の物、文理を問わず、勉学に励まれました。

大学進学においては、ご家族からは短大や女子大をすすめられる中、良縁があれば中退して結婚、を条件にご自宅から近い神戸大学文学部に入学。

『女一人前のことができなくて、学問とは！それでは論語読みの論語知らずになる！』というお母様の言葉に従い、洋裁も和裁も習得されました。ですから、ご自分で服の縫製や、ズボンの修理などもこなされます。

大学では専門の課程に入ると、初めての女子学生として日本史の講座に進まれます。このころから俄然歴史が楽しくなってきました。レポートをほめられ、夢中になっていきます。卒業論文で書いた『播磨国矢野庄』が認められ、偉い先生方から激励を受けてさらに『丹波国大山庄』を発表。この論文が兵庫史学に掲載され、さらなる向学心に火が付き、大学院への進学を決意します。

京都大学大学院では、「他人と同じことを研究していてもだめだ、人が目を向けない中世をやろう！」と新しい分野を切り開きます。

ご主人の修さん（62期）と知り合われたのも、このころです。『君も北野か。』と声をかけられてから、しばしば下校時に電車で偶然（？）出会い、帰り道を共に過ごす日が続きました。また研究の取材にも付き添ってくれるとても親切な研究室の先輩。脇田さんが修士課程修了後にご結婚されました。

ご長男を出産、育児の中、博士課程に。論文『日本中世商工業座の研究』を書き上げます。当時は研究室の7割近くの学生がオーバードクターという就職難。そこで、男女を問わず実績の有無により教員を採用していた新設の大学、大学院に目をつけるなど知恵をめぐらせます

研究は、中世商業史に始まって都市、被差別民、芸能、女性などに広がります。そして常に重要な役割を果たし、すぐれた業績を重ねてこられました。特に女性史においては、西宮～芦屋の奥様方と始めた『女性史を読む会』から女性史研究会の立ち上げ、女性史学賞の設立など、普及、教育にも力を入れられています。

研究を続けながらの三人のご子息の育児。そして行政への保育所設置運動と、働く環境作りにも腐心されました。

近世史を専攻される修さんとは研究においては織豊政権を境に、住み分けされています。かつては互いに論文を読み合い、切磋琢磨されていたとのこと。徹夜の議論に及んだことも。一方、最近の歴史小説、ドラマについては、「学問は相対的なもの。フィクションとして楽しんでいます。」とおおらかにおっしゃいます。

女性研究者の先駆けとして、困難な条件のもと、粘り強さと幅広い交友を持って研究に励まれ、後進を導かれてきた業績は大きいものです。しかしながらそのことを、穏やかな笑顔で語られる脇田さんには、芯の強さとともにしなやかさを感じずにはいられません。同じ女性として、大変勇気づけられる一日でした。



【文化勲章とは】



文化勲章は、科学技術や芸術などの文化の発展や向上にめざましい功績のある者に授与される日本の勲章で、当時の内閣総理大臣・廣田弘毅の発案により、文化勲章令(昭和12年2月11日勅令第9号)を以て制定されました。

親授式は毎年11月3日の文化の日に皇居宮殿の間で行われ、天皇から親授されます。

文化勲章は、章、鈕、環の各部から構成されており、章は橘の五弁の花の中心に三つ巴の曲玉を配し、鈕にも橘の実と葉が用いられています。



橘の花



橘の実



橘の葉

六稜トーキリレー第81回 【文化勲章受章記念講演】

河渕 清子（64期）

同期の脇田（旧姓：麻野）晴子さんが文化勲章を受章されたことを知った時は、一瞬驚いた。

早速、卒業アルバムを開き確認、クラスメートとの会話より勉強一筋の頑張り屋さんのイメージだった彼女を思い出すことが出来た。六四会内でも「あの脇田さんのこと？」「麻野さんのこと？」とお互い確認の電話やメールが飛び交ったのも、私達女生徒がその昔大手前から北野への移籍組だった中、彼女は転校生として北野高校へ。同じクラスでなければ口をきいたこともなかったのも当然である。私もその一人で、トーキリレーの当日、彼女と対面したときは思わず「初めまして・・・」で始めてしまい傍の友人からも失笑を買ってしまう有様。

何はともあれ、今回の受章は六稜生では森繁さんを含む5人目の快挙で、同期として彼

女の栄誉を祝し
その偉業を称え
たい。

なお、脇田晴子さんのご夫君は
第12回トーキリレー講師でもご
登場願った脇田修氏@62期（現大



▲文化勲章受章記念講演される脇田晴子さん

阪歴史博物館館長）で近世史がご専門の大坂大名誉教授である。

六稜会館ホールは、開演前から200人近くの六稜人、学校関係、一般の人で埋まっている。14時、会館催事委員長の徳岡さん（92期）の司会で第81回六稜トーキリレーが始まった。

冒頭、満面の笑みの山本同窓会会长の挨拶があったのも、本トーキリレーの開幕以来、初めてではなかろうか？「文化勲章受章者」の講演であればこそである。引き続き64期学年代表の足立一郎さんの軽妙洒脱な「講師紹介」の後、参加者に配布されたレジュメ「私の歩んだ道」に基付き脇田晴子さんの講演が始まった。

話は先ず北野高校への経緯から始まり、「自由」を校風とした当時の生徒のイタズラ話や、カリヤン、カメなど懐かしい恩師のお名前も飛び出した。

大学・大学院を通じて日本中世史を専攻、ご実家が商家だったことから特に中世商業



<本校出身の歴代文化勲章受章者>

昭和31年	八木 秀次(16期)	大阪大学総長（電気工学）
昭和46年	安井 琢磨(39期)	東北大学名誉教授（近代経済学）
昭和47年	早石 修 (50期)	大阪医科大学長（生化学）
平成 3年	森繁 久彌(45期)	日本俳優連合理事長（現代演劇・映画・放送）
平成22年	脇田 晴子(64期)	滋賀県立大学名誉教授、現 石川県立歴史博物館長（日本中世史）

史、中世女性史の研究に没頭、当時では女性の歴史家として脚光を浴びる存在となつた。今迄、男性が中心だった歴史学で女性を見つめ直し従来の「家婦長従属論」を覆したことでも知られている脇田女史が今回の受章の対象に選ばれたのも一理あるだろう。

ご自分の著書の紹介も、個々の説明があまりなく、マニアックな解説はこの場で不要と思われたのだろうが、せめて一冊ずつの梗概は話してほしかった。中でも、「日本女性史の研究・・・」では研究動機一調査一執筆に至った経緯なども詳しくお聞きしたかったし、内容の簡単な説明からジェンダー論に発展するであろう、と参加者の期待?も叶えられないうちに終演時間となってしまった。

講演の中、映像が一枚も映されることが無かったのもトーキリレーとしては物足りなさを感じないでもなかった。講演の前半では同じことを繰り返し話される度に同期の私たちはハラハラしたが、これも文化勲章受章者の名に免じて甘んじて受けられしかなかった(苦笑)。

質問タイムの後、母校一年生生徒会長の勝又晴日(かつまたはるひ)さんから花束贈呈、世代を超えた先輩・後輩の2ショット撮影などがあり、満場の喝采を浴びながら 清潔しい幕切れとなった。

あちこちの大学で教授を歴任後、現在は石川県立歴史博物館館長の脇田さん、研究・執

【文化勲章マメ知識】

当初、政府案は桜をモチーフとしていましたが、昭和天皇が紫宸殿に植えられている左近の桜・右近の橘を例えに、常緑樹の橘は永遠を表すものであり、永遠であるべき文化の勲章としては橘の方が望ましいのではないか、という趣旨の意見をされたため、橘をモチーフとするようになりました。

【主な編著】

- | | |
|-------|--|
| 1960 | 日本中世商業発達史の研究 |
| 1981 | 日本中世都市論
「日本女性史」全5巻 |
| 1985 | 室町時代
「母性を問う…歴史的変遷…」上
下巻 |
| 1988 | 戦国大名 大系日本の歴史第7巻 |
| 1992 | 日本中世女性史の研究・性別役割
分担と母性・家政・性愛 |
| 1995 | 中世に生きる女たち |
| 1999 | Women and Class in Japanese
History
「Gender and Japanese
History」vol.1.2 |
| 1999 | 中世京都と祇園祭 |
| 2001 | 女性芸能者の源流..傀儡子・曲舞・
白拍子 |
| 2002 | 日本中世被差別民の研究
「石見銀山 年表・編年史料綱目」
「ジェンダーの日本史」上下巻
「アイデンティティ・周縁・媒介・
日本社会」日仏共同プロジェクト |
| 2003 | 天皇と中世文化 |
| 1983- | 「日本女性史研究文献目録」I-V巻 |

筆生活で半世紀を越えた今もなお、研究には余念なくご夫妻で調査旅行を楽しんでおられるそうだ。6歳から始めたと言われる仕舞を楽しみながら・・・

これからもお元気で益々のご活躍を祈っている。



▲同期(64期)の皆さんと

Party Reports 2

● 76期六稜トーキリレーに集う

本文 内藤美津子（76期）
写真 清水暁雄（76期）
挿絵 小久見善八（76期）

2010年9月4日に76期の小久見善八さん（京都大学特任教授）が第77回スピーカーとして登場しました。演題は「二次電池の発展とグリーンコミュニティでの役割」ということで、内容は非常にアカデミックで久しぶりに大学の授業を受けているかのような錯覚に陥りました。

ここに六稜WEBに寄せられた76期吉本さんの感想を抜粋してみました。

「私が義務教育時代に学んだ電池の知識はマンガン乾電池あたりで停滞し、最新のLiイオン電池とはどんなものか教えてもらえばいいな程度の不遜な思いで聴講しました。2時間のトークは深い知識と多くの経験を基に、我々のような素人に簡潔に説明したものでしたが結構難しいでした。かけがえのない地球を守る救世主になり得る電池だが、電池そのものの効アップや社会的なスマートグリッドの構築など多くの課題も指摘されました。その為に、多額の血税を投入した国の命運を担う産学官のプロジェクトを預かり、自負とともに重責感のにじむトークがありました」

トーキリレー終了後我々は、あまりの濃厚授業で疲れの出た頭を休めるために十三の松風に席を移しました。松風にはトーキリレーに参加した人、用事があって同窓会館には来られなかつたけれども小久見さんと一緒に食事をして話したいと集まつた人、遠くは富山から駆けつけた人もいて20余名が集いました。中には小久見さんの話を聴くために久しぶりに参加された人もあり、「お前は



誰だ？」といった会話も飛び出しました。しかしそこは同期生、すぐに全員が打ち解けて、高校時代の話や近況報告、四方山話等、話題に事欠かず、食事会は和やかにそして大いに盛り上がり、あつという間に2時間が経ちました。

そしてその後はまた三々五々に分かれて旧交を温めました。小久見さんの講演を軸にして、それぞれがとても楽しく有意義なひとときを過ごすことができました。

● 80期東京支部同期会

大久保 剛（80期）

「再スタートの初年をふり返る集い」と銘打って、またまた今年も80期東京支部同期会が開催されました。同期全員が無事（？）還暦を迎え、そして1年が経過。昨年の“還暦狂想曲”は大いに盛り上りましたがその反動や如何に？との不安は一掃。今年も60名強が参加。開場時刻前から懐かしい顔、見慣れた顔の面々が会場の如水会館に続々と集結。プロ（自称ですが）が編集したDVDを眺めながらまずはお互いの近況報告。いやあ、人生60年を経験すると“ほんまに人生色いろ”。

開会宣言に続いて“物故者のお名前”が次々とスクリーン上に。そこ彼処で“あの人も…”

“あいつもか…”と哀しい囁きが。一緒に“新しいスタートライン”に立つはずだったのに…。故人を偲んで全員黙祷。

開場全体が重苦しい雰囲気に包まれたときに幹事団の紹介。幹事全員が“猿”“あひる”“忍たま”的マスクを被って登場。特に女子幹事の臆面もない仕草に会場は笑いの渦に（男子は些か照れ気味でしたが）。さすが北野卒業生、切り替えの速い事。そして垣間見える“関西おばさんパワー”に脱帽。一気に会場が寛いだ雰囲気に。

続いてこの1年間で大いに活躍された方々の紹介が。果敢にホノルルマラソンに挑戦され無事かつ好成績で完走された方、ロシアの空港で危篤状態に陥るも地獄の淵から蘇がえった強運の持ち主、一昔前なら“〇〇罪”で逮捕されかねない“超若い女性”と再婚された方、それも二組！いやあ“ほんまに人生色いろ”と改めて実感。

恒例となった3年生時のクラス別自己紹介と続きあつという間に2時間半が経過。そして2次会の会場へと。まあ賑やかなこと。しかし時は非情にも過ぎ去りタイムアップ！

名残惜しい別れ時にある人が呟きました、“縁（えにし）やなあ”。時を同じくして北野に入學し卒業し



たのも“縁”、生活の拠点を東京近在に構えたのも“縁”、この集いに参加したのも“縁”、遠距離にも関わらず馳せ参じて頂いた方もこれまた“縁”。これからもこの“縁”を人生の宝物として大切に守っていきたい。そんな暖たかい気持ちに満たされたひと時でした。また来年!!

アップされ総数1000件近くになりましたが、いずれも笑顔、笑顔の連続でした。50歳を過ぎてこのような楽しい旅行を経験できた喜びと、いずれまたこのような機会ができればとの思いを皆が共有できたのではないかと思われました。この旅行を成功に導いてくれた皆さんに感謝します。

●お酒の飲める修学旅行：館山寺温泉編

西田吉直（89期）

我々89期は、2008年に六稜同窓会総会の幹事を担当いたしましたが、その余韻の残るままに東京と大阪のほぼ中間地点にある浜名湖畔の館山寺温泉へ「お酒の飲める修学旅行」に行ってきました。

2010年10月10日朝、いまひとつの天候の中大阪と東京からそれぞれチャーターバスで出発しましたが、車中は最初から宴会状態。大阪組はアルコールの消費も順調で各駅停車のようにSAで休憩をとりながら東へ。一方東京組は、柿田川湧水、焼津港を経て西に向かいました。ほぼ同時に宿泊先の「時わすれ開華亭」に到着しましたが、先に新幹線で着いていた同期生が手作りの六稜マークの連続旗をかけて出迎えてくれたのには、驚きと共に一体感が一層盛り上がりました。その時現地は出発時の悪天候がうそのような快晴になっていました。

温泉につかって移動の疲れをいやしたのち、総勢62名の宴会が始まりました。クラスごとの近況報告などで盛り上がったあと、二次会はカラオケ大会となりました。日頃鍛えたパフォーマンスが多数披露されたあと、締めの曲は六稜総会でも歌った、89期が北野在学中に発表された中島みゆきの「時代」。肩を組んでの大合唱でお開きとなりました。

2日目はグループに分かれて、浜名湖遊覧船、ロープウェイ、オルゴールミュージアム、動物園などを巡りました。昼食は再びホテルに戻り、一人前に一匹を使った名物うなぎどんぶりを堪能しました。予定より少し早く帰路につきましたが、大阪組は計画どおりに帰阪したものの、東京組は大渋滞に巻き込まれてしまいました。しかしそこはIT時代、iPadで交通情報を収集し、仙台まで帰る友人が新幹線に間に合うように途中でJRに乗り換えて全員が無事に帰宅できたようです。

翌日から写真やビデオがインターネットに続々



●六稜九二会卒業30周年同窓会

住山真一郎（92期）



平成22年に卒業30周年を迎えた92期（昭和55年卒）生は、6月26日（土）大阪第一ホテルにて、卒業30周年同窓会を行いました。当日は、9人の恩師をお迎えして、約90人の同期生が集り、盛況のうちに名残りを惜しみつつ散会となりました。平成23年は92期生が、六稜同窓会総会及び東京六稜会総会の世話役の当番であり、卒業以来、久しぶりに、同期生が力を合わせて大きなイベントを動かすという、またとない機会となります。それにあわせて、同期会関係の行事も続きますので、同期の皆さんには、是非、積極的にご参加いただきますようお願いします。

●102期卒業20周年記念同窓会

清水博明（102期）

2010年10月23日、六稜会館にて102期の「卒業20周年記念同窓会」を盛大に行いました。卒業以来初となる20年ぶりの全体での同期会でしたので『人生最大の再会のPARTY－この機会を逃したら次はないゾー！－』と銘打ち、事前準備を周到に進めて本番に臨み、その成果もあって、本番にはなんと一次会に250名が集まる、六稜同期会過去最大規模の大きなイベントにすることができました。（東京など他都道府県のみならず、海外からも多数参加してくれました。）

なにせ卒業後20年の時間が経っていましたので、本番までの準備には大変な苦



労があり、結局3年間という長い準備期間を要しました。

準備期間中に注力したのは「メールアドレス収集」と定期的な「プチ同窓会の開催」でした。まずは、同期生への連絡ツールとしてのメールアドレス収集作業。これが想像以上に大変でした。本番の一年以上前の2009年7月に本格的な実行委員会を発足。メールアドレスによる告知を前提とした名簿整備を掲げました（アドレス収集目標卒業生650名中400名）。ただ5-6名の実行委員では人手不足で作業がスムーズに進まなかつたため、2009年末に3年時のクラスにて「クラス幹事」を男女一名ずつ任命し（並行してクラブ幹事も任命）、より組織的なアドレス回収を呼びかけました。これが功を奏して回収作業も順調に進み出し150名で頭打ちだった状況から、300名→400名と情報が集まり始め、最終的には目標を大きく上回る「約500名」のメールアドレス回収を実現。結果的にこの作業の成果が本番の集客へ大きく寄与しました。

また、同期生間の情報共有の場を提供したり、なにより同窓会へ参加することのハードルを下げる意味合いで、定期的に40-50名規模の「プチ同窓会」を東阪で開催しました。「プチ同窓会」のきっかけは、思い起こせば、今から4年前の2006年末に元2年6組のメンバーが「クラス会」開催を提唱したことに始まります。その後2008年2月に、元2年6組を中心に、クラブ、クラス関係の知り合いに声を掛け45名の同窓会を十三で開催（実質第1回目のプチ同窓会）。その後東京転出組のネットワーク化を促す目的で1年後の2009年4月に50名規模での東京同窓会を実施。この時に2010年10月の「卒業20周年記念同窓会開催」を決定しました。

このように、本番までの約2年半の間に40-50名規模のプチ同窓会を計6回実施し、メンバー間の交流と情報の共有化を進めながら「2010年10月23日本番」までの準備を着々と進められたことが非常に有効であったと感じています。

そして、本番。一次会には、250名の同期とそのお子さんたち、そして8名の先生方（猿田先生、野邑先生、高橋先生、近森先生、安藤先生、佐々木先生、篠崎先生、田中先生）にも参加いただき、非常に盛大な会になりました。

先生方を代表して猿田先生に乾杯のご挨拶を頂



き、会はスタート。最初は3年時のクラスで固まってもらい、クラスごとに卒業写真のスライドを上映しながら、

担任の先生、またはクラスの代表者に当時の思い出や近況を話してもらいました。ほとんどの参加者が卒業以来20年ぶりの再会？であるにもかかわらず、酒を飲みながら懐かしい卒業写真を見たり、先生や同期の近況を聞いているうちに、いつの間にか場の雰囲気も打ち解けて参加者の中に一体感が生まれていました。

歓談の最中には、久しぶりの再会に近況を報告しあう場面や、以前のカップル（？）で記念撮影をするシーン、またおめでたいことに同期同士でまもなく結婚をするカップルからお披露目スピーチがあつたりと、参加者が思い思いの楽しみ方で会を堪能していました。



そして目玉イベントの一つ「トークコーナー」へ。『故郷大阪で考えよう～伊丹・関空・神戸空港、私ならどうする？』と時事ネタをテーマに掲げ、同期生の中で大学教授（財政・公共経済学専門）、官僚（国土交通省）、政治家（参議院議員）、航空業界、主婦、それぞれの代表にパネリストとして壇上にあがってもらい激論を展開。赤い顔をしてまじめにコメントする○○君の顔が印象的であったように、各パネリストが酔っ払っているのか、冗談を言っているのかわからない状態ながら、「名司会」本田君のリードで、非常に楽しいコーナーになりました。

最後に同窓会では定番の校歌斉唱へ。ピアノ伴奏担当の栗谷君が場を一つにまとめ、参加者一堂が久々に「六稜の星のしるしを・・・」を歌い、一次会は中締め。

あっという間の2時間半でした。

その後は、PLAZA OSAKAに場所を移して二次会へ。同期一のエンターテイナー大塚君の仕切りによる二次会には、180！名が参加し、笑いあり、涙あり？の盛況な二次会になりました。20年ぶりに集まった我々は二次会まででは話足りず、そのまま3次会（110名）、4次会（60名）へと流れていったのでした・・・。

公私ともにダイナミックに環境が変化する30代の最後のタイミングに、こうして集まれたことの意義は大きく、今後もこれを機会に各地で同期の集まりが催





されることを期待すると共に、次回は5年後の「卒業25周年記念」に大きな同窓会をすることを決定し、参加者に告知しました。5年後までにも、色々なイベントを考えいくつもりですので、102期のみなさん！自分の連絡先（特にメールアドレス）に変更があった際には、クラス幹事に必ず連絡するよう徹底をお願いします。

今回参加できなかった同期も、是非次の機会には顔を出して下さい。

では、また会いましょう！

● 112期卒業10周年同期会

蓮池 隆（112期）

2010年12月30日に112期の同窓会を『北野高校112期同窓会2010』と題し、HOTEL プラザオーサカにて開催しました。ちょうど1年前の同じ日に、112期の同窓会を開催しており、2年連続の開催です。これは2009年の同窓会にて、参加していただいた多数の方から『毎年同窓会を開催してほしい』との声があがり、その声に後押しされたことに端を発しています。ただいざ開催しようと準備を進めていくと、2年連続で年末がつぶれるのはきつい、またちょうど年齢的に仕事が軌道に乗っている、また結婚・出産・子育てが重なり多忙を極める時期で、参加者がかなり少なくなるのではないかと心配しましたが、当日は先生方も含め60名を超える参加があり、心配した気持ちが杞憂に終わったことに、幹事としてもホッとしております。

会の進行も普段会えない旧友となるべく多く、しかもゆったりと話すことができるよう配慮し、企画の時間配分から机の配置まで、ホテルの方々のご協力を得ながらセッティングできたことで、あちらこちらで楽しい話し声や笑い声が聞こえて



くる同窓会となつたのではないかと思っています。また当日参加できなかつた旧友から近況報告や写真を送つてもらい、皆で旧友の活躍ぶりを共有することで、2011年に向けての新たな刺激を得ることができたのではないかと感じています。2011年の年末も開催できるかどうかは、新たな幹事の方が手をあげてくれるかどうかによりますが、駅伝の襷のように途切れることなく、毎年引き継いでいくことができればと願うばかりです。

● 115期同窓会レポート

小川智美（115期）

谷口佳子（115期）

杉田峻介（115期）

2010年12月29日夜、115期全体で2回目となる学年同窓会が十三のホテルプラザオーサカで行われました。前回の同窓会から4年が経ちそれなりに仕事等で忙しい中でしたが、同窓会にあわせて遠方から駆けつけてくれた人も多く、当日は学年約350人中176名という多くの115期生が集まりました。また、野邑先生、中島先生、富山先生、高倉先生の4名の先生方がご参加下さいました。

一次会は1階の大宴会場にて開催、サッカー部の井上君と水泳部の迎田君の司会で始まりました。前回は校歌独唱で開会ましたが、今回はAKB48の「会いたかった」にのせて開会宣言、サッカー部の渡辺君のパフォーマンスに会場にどよめきが（笑）。先生方にご挨拶いただいて乾杯、その後は自由に歓談の時間に。4年ぶりに会う人、卒業以来の人、とにかく久々に会う仲間どうしあちこちに人の輪ができる大いに盛り上がりました。会場には懐かしい北野時代の日々、そして最近の（大人になった）写真も加えたムービーを上映。昨年結婚式をあげた115期生カップルの写真も登場し会場は沸きました。さらに、幹事からの「また次の同窓会があればいいと思う人！」という呼びかけに多くの手が挙がったので、次回幹事をきわめて平等に決めるため、富山先生にクラス番号のくじを引いていただいた結果、見事2年7組が当選しました。

話が弾む中あつという間に2時間が経ち、集合写真撮影を行つた後、次回の同窓会幹事クラスとなつた元2年7組から第3回同窓会開催に向けて力強い決意表明があり、一次会は閉会しました。その後19階の中宴会場に場所を移し二次会を行いましたが、予定をはるかに上回る140人以上が参加し、ますます会話が弾みました。話が尽きず、さらに三次会に突入した人も多かつたようです。

二次会の終了後、多くの人から幹事に「ありがとう」と声をかけてもらいました。また、今まで話す機会がなかつた人とも仲良くなつた、今回話が盛り上がってクラスで同窓会を開催することも



決まった、という声も聞かれました。普段はなかなか会えない115期生とも顔を合わせられる機会なので、今後も学年同窓会が続いていけばと思います。

最後にこの場を借りて、各クラスへの連絡に協力して下さった方々、当日の受付をして下さった方々、今回の同窓会開催にあたりご協力いただいた方々、ならびにご参加いただいた先生方に心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

●116期同期会

学年副理事 中井 亮 (116期)

1月8日(土)に3度目の116期同窓会を六稜会館にて開催いたしました。年明けの忙しいなか、70名以上の同期生にご参加いただきました。

前回の同窓会では、さまざまなゲームで盛り上がりましたが、今回はフリートークを主体に行いました。1次会は同窓会館にて、2次会は十三の居酒屋にて実施いたしましたが、普段なかなか会えないメンバーが集まったということもあり、どちらも皆さん思い出話に花が咲いていたようでした。また卒業から7年ということで、多くの方が社会人になられており、よい情報交換の場にもなったのではないかと思います。

今回の同窓会も前回と同様のメンバーで幹事をやらせていただきましたが、みな社会人や卒業間近という状況もあり、準備に充分な時間を掛けることができたとは言い難いのですが、皆さんの協力のおかげで今回の同窓会も盛況に終わってうれしく思っております。



今回もお世話になった事務局の久保田さん、前日も遅くまで打ち合わせと当日の買出しをしてくれた中山氏と米坂氏、怪我をしている中ムービーの作成に尽力してくれた鈴木氏、関東にいながら六稜会館と2次会の段取りと当日の進行をしてくれた服部さん、忙しいなかいつでも駆けつけては幹事メンバーを盛り上げてくれた楠本氏、そして当日の会の準備や後片付けを手伝ってくださった同期の皆さんに、この場を借りて感謝申し上げます。有難う御座いました。

3年後は節目の卒業10周年です。誰か代わりに幹事やってくれないかな~(笑)。

●119期初めての同期会

明坂弥香 (119期)

2010年12月26日(日)、私たち119期生・初の学年同窓会は大大大成功のうちに幕を閉じました。



私たち同窓会委員が動き始めたのは、猛暑の続く8月末のこと……118期の先輩方から同窓会の流れは教えていただいたものの、まず何から手をつけて良いのか分からない。そもそも受験の差し迫った時期に任命された同窓会委員の中には、その後東京や地方への進学が決まった人もおり、企画に十分な人員が確保できない。今考えてもひどい状況でした。

人員の確保はお助け隊という制度の導入により、なんとか解決。このお助け隊として参加してくれた内藤くんと本田くんが、後々主役級のすばらしい働きを見せることになります。そして肝心の企画。普通に話し合っても良い案がなかなか出て来ない……ここは大人の特権アルコールの力を借りよう!と、お酒を酌み交わしながら話し合った会議で同窓会の骨組みが見えてきました。

やっとこさ本格的に転がり始めるように思えた同窓会企画。しかし、想像以上に険しい出欠確認という名の壁に行く手を阻まれる。大まかにでも人数を把握しなければ予算が組めないので、転居のためか案内のはがきが届いていないという声多数。はがきが届いた人からもほとんど出欠の返信をもらえず……結局同窓会委員が手分けして、担当クラス全員に直接出欠を確認するという地道な作業を行いました。そうこうしているうちに、同窓会まで残すところ1か月弱。毎日のように何処かでだれかが、企画をつめたり買い出しをしたり…



同窓会準備が生活の一部となり、勉強との優先順位が危うくなり。慌ただしく同窓会当日を迎えました。

そして本番。巧みな進行をみせた内藤くん、当時の制服や体操服に身を包んだ「北野のエビちゃん」こと小林さんのゴールデンペアが司会を担当してくれました。

第一部のクラス対抗クイズ大会では、北野生の闘争心をくすぐる難問クイズあり、先生方からのビデオレターによる出題あり、懐かしの校歌やラジオ体操第2も飛び出しました。最後の一発逆転クイズダービーでは、各クラスの代表者たちが後ろ二重飛びで競い合い、その勇姿に大きな歓声が上がりました。

そして、第二部のbingo大会。景品は豪華なものからそうでないものまで、とにかくバラエティーにとんだものを用意しました。その結果、加藤先生には猫のコスプレセットがあり、それを着た加藤先生と岩倉先生が2ショット写真を撮るという珍しい光景を拝むこともできました。予想外に人気だった六稜グッズ、最後まで残ったDSにbingo大会は大盛り上がりでした。がんこでの2次会については言わずもがな。

会議に会議を重ねた同窓会。119期の同窓会が最も盛り上がった同窓会の一つであるに違いない！と我々は自負しております。

当日も私たちは忙しく、懐かしさに浸る…なんてことはほとんどできませんでした。それでもたくさんの友達が、直接お礼のメールを送ってくれたり、mixiの日記やボイスに「同窓会が楽しかった」という感想を載せているのを見て、同窓会委員をやって良かったなっと心の底から思いました。本当に良かった。そして、準備を通して高校時代にはつながりの無かった委員の面々と貴重な時間を共有できたことが私にとって大きな収穫でした。

スライドから雑務まで何でもこなす中野くん、イベント企画リーダー竹山さん、久々に統率力光りました本田くん、細かい所に気がついて準備万端の米村さん、司会・買い出し・会議場提供ありがとうございました内藤くん、司会もインタビューも良かった小林さん、スライド準備担当松室くん、写真係の野口さん・奥田さん。連絡・当日庶務の野中さん・荒木さん。そしてそして、実行委員長丸野くん。

割り当てられる仕事はもちろん、自分から仕事を探してどんどんこなしていく姿勢——ふーん。これが噂の六稜魂ってやつか…と思ってみたり。

最後になりましたが、同窓会の運営に協力してくださった六稜同窓会事務局の皆さまでありがとうございました。特に、久

保田さんにはたくさんのお手伝いをしていただき、もう頭が上がりません。当日足を運んでくださった、加藤先生・岩倉先生・的場先生・長浜先生ありがとうございました。森先生も来てたかな！？卒業してもう4年も経つのに、同窓会の用事で北野へ赴くたびにたくさんの先生方が暖かく声をかけて下さいました。また、職員室でのビデオ撮影・その他の準備も先生方のご協力があってこそです。ありがとうございました。そして、参加してくれた119期のみんなありがとうございました !!!



六稜合氣会発足のお知らせ

○北野高校合氣道部の関東地区のOB・OG会として「六稜合氣会」が平成22年9月29日に発足しました。

発起人：黒岩暁一（75期）、西田美博（81期）
丹羽達雄（82期）、水戸川正美（83期）
中川文夫（83期）、塚本 渉（111期）
山田昌輝（111期）、安藤勝利（111期）

役員・幹事：会長 黒岩暁一（75期）
副会長 西田美博（81期）
幹事 水戸川正美（83期）
塚本 渉（111期）
山田昌輝（111期）

次回会合：平成23年5月23日（月）

午後7時-9時

ライオン銀座7丁目店

連絡先：塚本 渉（111期）

tkmwtr00@pub.taisei.co.jp

御願い：名簿を作成中です。

関東地区的OB・OGはご連絡ください。

頑張って練習しています。兼部するこ
ともできる素敵な同好会です。音楽を
楽しむことを目的にして楽しく楽器
を演奏しています。
音楽？楽器が好きな人は大歓迎です。
楽器をやったことなくても大丈夫です!!
音楽で青春をエンジョイしよう☆

超自然科学研究同好会 ······
超自然科学研究同好会は、現在1年生
5人で活動している、今年新設の同好
会です☆活動は週に数回で、兼部も可
能です。というか、全員兼部です。現
在は校内で活動しています。

できたばかりで、活動はまだ目立った
ことをいませんが、超自然科学的
なことを研究・調査したいと思ってい
ます。六稜祭ではおもしろいこと（未
定（笑））をしようと思っています。
基本、やりたいことを研究する同好会
なので、興味のある人、超常現象や都
市伝説の謎を解きたい人、この紹介を
読んでどんな同好会か気になった人は
ぜひ遊びに来てください！

《運動部（50音順）》

陸上競技部 ······
今年も快調に走り続ける陸上部は、そ
れぞれに目標を持ってがんばる部員の
中、日々練習に邁進しています。毎年
多くの選手が中央インターハイに出場
し、近畿インターハイ・全国インターハイ
進出者も出ています。いい雰囲気
と流れの中で、これから更なる飛躍
を目指して切磋琢磨していかたいと思
います。部員、マネージャーともに隨
時募集中なので、興味のある人は、ぜひ
見学に来てください！

■2010年

インターハイ大阪大会

男子100m（準決勝進出）
800m（準決勝進出）
1500m（決勝12位）
5000m（決勝6位 近畿大会出場）
4×100mR（決勝6位 近畿大会出場）
走幅跳（決勝5位 近畿大会出場）
円盤投（決勝）

女子100mH（準決勝進出）
3000m（決勝）

インターハイ近畿大会

男子5000m（決勝）
走幅跳（決勝6位 全国大会出場）

インターハイ全国大会

男子走幅跳

大阪総体

男子100m（準決勝進出）
200m（決勝9位）
100mH（決勝7位）
1500m（決勝10位）
5000m（決勝）
4×400mR（準決勝進出）
走幅跳（決勝7位）

女子400m（準決勝進出）
100mH（決勝6位）

400mH（決勝7位）
1500m（決勝5位）

3000m（決勝4位）
4×400mR（準決勝進出）

円盤投（決勝）、走幅跳（決勝）

大阪高校駅伝

男子12位、女子11位

水泳部

現在、部員数39人で活動中です。今
年も有望な1年生が入ってくれました。
1年21人、2年18人で毎日、自己ベ
スト更新のためがんばっています。部
の目標は、全員大阪大会（中央大会）
出場です！初心者でも最終的には大勢
が中央進出できます！熱い部員大歓迎！
水泳で青春を満喫しよう♪

■2010年

・大阪府選手権（6月）於：なみはやドーム
多数標準記録突破
・中央大会（6月）於：なみはやドーム
25名（標準記録突破者）出場
　　男子400m フリーリレー 15位
　　男子400m メドレーリレー 18位
　　男子800m フリーリレー 14位
　　女子400m フリーリレー 22位
・高校対校選手権（8月）於：なみはやドーム
・新人大会（9月）於：大阪プール
　　男子200m フリーリレー 18位
　　男子200m メドレーリレー 16位
　　女子200m フリーリレー 28位
　　女子200m メドレーリレー 33位

器械体操部

こんには、器械体操部です。3年生
男子2名、女子1名、2年生男子1名、
女子2名、1年生男子2名で活動して
います。部員は初心者から経験者まで
様々なですが、みんな意欲的で、OB・
OGさんや先生のご指導で日々上達
に向けて練習することが出来ています。
男女の仲、先輩後輩の仲もよい雰囲気
で、北野らしい存在感のある体操がで
きるように毎日練習に励み、皆で楽し
く頑張っています。今後とも、私たち
器械体操部をよろしくお願いします。

■2010年

5月 大阪高校堺春季大会 女子2部
　　団体5位
11月 大阪高校新人大会 女子2部
　　団体6位（1部陥3校に次いで大阪9位）
器械操選手権大会
　　男子2部 個人8位
　　女子2部 個人4位

柔道部

■2010年
北地区学年別大会（1月）
　　3人戦2年 北野1－2関大北陽
　　北野0－3履正社
　　北野1－2金光大阪
3人戦1年 北野1－2吹田東・北千里
　　北野1－2大阪
　　北野1－2槻木

第27回大村杯争奪高校柔道大会 大
阪大学石橋（3月）
　　5人戦 北野2－3大阪星光B
　　北野2－3三国ヶ丘・東南
　　北野1－4八尾翠翔
　　女子の部 佐嵩 優勝
公立高校杯（個人戦）
　　-70キロ級 花井 準優勝
　　-63キロ級 定立 第三位
　　女子の部 佐嵩 優勝
第58回全国高校柔道大会大阪府予選（男
子団体）（6月）
　　5人戦 北野2－3八尾翠翔

天高戦
　　5人戦 点取り 北野1－4天王寺

拔き

北野一人残して負け

公立高校杯（3人戦）

ベスト8

北野2－1富田林

北野3－0豊島

北野1－2八尾

大阪市北地区大会（11月3日）

団体戦5人戦 北野1－4関大北陽

北野0－4英真

北野1－4大阪高校

個人戦 前川 第3位

第59回大阪高校柔道新人大会兼全国

大会予選（男子団体）（11月23日）

一回戦 大阪星光 一人残して負け

女子の部 佐嵩 ベスト8

剣道部

★ごあいさつ★

北野高校剣道部は「文武両道」をモット
ーに、近畿大会、インターハイ出場
を目指し、日々稽古に励んでいます。
剣道は、初心者から始めて全く問題
ありません。経験豊富な顧問の先生、
そしてOB・OGの方々の熱心なご指導
により、経験者と同等に強くなること
ができます。剣道部の雰囲気はとても
明るく、先輩・後輩とても仲が良い
です。一緒に頑張る仲間がそばにいる
ので、勉強にも集中することができます。
「剣道って何だろう？」」「面白そう
だな」と思った方、ぜひ一度剣道場に
足を運んでみてください。大歓迎でお
待ちしております。

★部員数（2010年12月現在）★

1年生：男子7人 女子4人

2年生：男子5人 女子2人

★活動場所・内容★

[剣道場] 基本技の練習、応じ技の練習、
追い込み、地稽古 etc.

[河川敷] 長距離の走りこみ、素振り etc.

★過去の戦歴★

■2010年度4月～

天王寺高校 定期戦（5月）

　　男子 勝利、女子 負け

インターハイ大阪予選（6月）

【団体】男子 1回戦進出（ベスト16）

　　女子 2回戦進出

大手前高校 定期戦（7月）

　　男子 勝利、女子 負け

大阪総合体育大会（11月）

【団体】男子 2回戦進出

【団体】女子 1回戦敗退

北摂剣道学校大会

　　男子 1回戦敗退、女子 1回戦敗退

合氣道部

部員は現在1年14人、2年8人の計
22人で活動しています。私は天之
武産合氣道々場に所属し、時間に余裕
があれば、放課後には吹田市の道場で
の練習に参加させていただいている。
また、今年も指導員の先生に週に1回
武器・体術等をご指導してもらっています。
他校の合氣道部との交流もあり、
今年は大手前高校との合同合宿や
合同練習、春日丘高校や神戸大学、京都
大学との合同練習も行いました。

現在、1年生は来年の六稜祭で発表す
る演武に向けて、2年生は昇段試験に
向けて、日々稽古に励んでいます。

事務局だより

理事会報告

■平成 22 年 9 月 25 日開催

- 各委員会（総務・財務・会館催事・名簿・広報・FR）に副委員長を設け、委員長が会議に出席できない場合は代理出席して貰う。
- 各学年理事はいずれかの委員会に所属願う。
- 六稜 WEB に各期・クラブ OB 会が独自に投稿できるページを新設する。
- WEB 部会への参加を呼びかける。

年会費納入状況

平成 21 年度年会費は 5,409 人の方に納入していただきました。納入率は前年度から 1% 減の 19% で、実数では 192 名の減少となりました。

六稜短信

2010 年 3 月以降、2011 年 1 月までにご連絡頂きました方々を掲載させていただいております。

44 期	面 寛仁	2010 年 8 月 10 日
46 期	広部 精次	2010 年 10 月 27 日
46 期	宇野 庄三	2010 年 12 月 31 日
47 期	矢野 誠二	2010 年 11 月 2 日
48 期	寶来 正己	2010 年 4 月 26 日
49 期	荊木 俊文	2010 年 5 月 14 日
50 期	伊藤 友喜	2010 年 7 月 18 日
50 期	大島 民夫	2010 年 11 月 21 日
51 期	今井敬一郎	2010 年 3 月 27 日
51 期	吉見 喜裕	2010 年 5 月 31 日
51 期	川端 利夫	2010 年 9 月 10 日
52 期	桂 龍三	2010 年 9 月 2 日
54 期	柳田 清宝	2010 年 3 月 14 日
55 期	米原 好久	2010 年 3 月 27 日
56 期	高橋 良正	2010 年 4 月 17 日
58 期	野瀬 行雄	2010 年 8 月 11 日
58 期	岸 良三	2010 年 10 月 8 日
58 期	岡武 土朗	2010 年 10 月 20 日
58 期	上田伊一郎	2010 年 11 月 25 日
59 期	田村 哲也	2010 年 6 月 17 日
60 期	清水 正彦	2010 年 10 月 7 日
62 期	藤岡 幹雄	2010 年 4 月 18 日
62 期	枡田 圭児	2010 年 10 月 9 日
63 期	津本 洋一	2010 年 3 月 17 日
63 期	家成 正樹	2010 年 3 月

22 年度の 1 月末現在の納入状況は、納入者は 5,268 人で、納入率は 19% です。納入率の最も高い期は 61 期で、次いで 65 期、58 期の順となっています。

今年度に同期会をされた 58 期・66 期・74 期・80 期・95 期・97 期・102 期・112 期・116 期の方々に払込用紙お配りし、納入のご協力を頂きました。137 周年総会担当の 91 期の方から多くの納入がありました。ありがとうございました。

納入が未だの方は、この会報に同封のゆうちょ銀行かコンビニの用紙を選択して、納入していただきますようお願いします。

銀行振込は下記口座にお願い致します

三井住友銀行・十三支店

普通 1077672 六稜同窓会

銀行振込に際しては、必ず会員番号・氏名の順で記入してください。振込費用は各自ご負担でお願いします。

63 期	松岡 光代	2010 年 7 月 7 日
63 期	福岡 賢	2010 年 8 月 2 日
63 期	井原 康雄	2010 年 8 月 6 日
63 期	井上 年弘	2010 年 8 月 27 日
63 期	竹本 洋一	2010 年 10 月 29 日
63 期	田中 満穂	2010 年 12 月 26 日
64 期	天野 明弘	2010 年 3 月 25 日
65 期	磯 巍	2010 年 4 月 25 日
66 期	原田 俊樹	2010 年 7 月 1 日
67 期	中川 皓文	2010 年 5 月 21 日
67 期	丸崎 邦夫	2010 年 12 月 26 日
69 期	樋口日出雄	2010 年 8 月 22 日
69 期	大沢 基子	2010 年 9 月 1 日
69 期	吉田 謙二	2010 年 9 月
70 期	久保 棟男	2010 年 10 月 4 日
71 期	小谷 征嗣	2010 年 3 月 31 日
73 期	池田 昌生	2010 年 7 月 10 日
75 期	井上 範之	2010 年 8 月 17 日
79 期	高橋 治美	2010 年 3 月 19 日
84 期	北野 泰正	2010 年 6 月 25 日
99 期	石原 綱三	2010 年 9 月 22 日

ご卒業期順、およびご逝去日順に掲載しております。
謹んでお知らせ致します（敬称略）。

お詫び 会報 55 号でお知らせいたしました、62 期藤岡昭雄様はお名前違いで掲載致しました。

また、58 期河野泰通様のご逝去日は 2010 年 1 月 6 日、71 期吉原大藏様のご逝去日は 2010 年 4 月 7 日でした。
謹んでお詫び申し上げます。

六稜同窓会138周年総会

開催のご案内

日 時：2011年10月30日(日)

場 所：北野高校 多目的ホール・六稜会館

担当期：92期 時間等詳細は57号にてお知らせします

六
稜
グ
ッ
ズ



◎Tシャツ
Mサイズ … 800円 [TSM]
Lサイズ … 800円 [TSL]
LLサイズ… 800円 [TSLL]
(※2枚で1,500円)



◎金属製「栄」
…300円 [BMK]
(※郵送の場合は3枚
以上でお願いします)



◎ハンカチ Sサイズ…300円 [HDKS]
Mサイズ…400円 [HDKM]
(※郵送の場合は3枚以上でお願いします)
◎書籍『北野130年史』(B5判)
…2,000円 [130]



◎絵はがき
校内スケッチ…500円 [PSS]

◎絵はがき
ラストショット…500円 [LST]

◎書籍『われら六稜人』シリーズ(A5判)
1998年 … 1,500円 [W98]
1999年 … 1,500円 [W99]
2000年 … 1,500円 [W00]
2001年 … 1,500円 [W01]
上記4巻セット…4,000円 [W4S]

同窓会事務局にて取り扱っています。
お申し込みは[太字]の記号で。詳しくはお問い合わせください。

同窓会費5年間未納の方に会報の発送を一時停止

同窓会費5年間未納の方に会報の発送を一時停止させていただくことが昨年6月26日開催の理事会で承認されました。

同窓会維持のために会員のみなさまに会費として等しく応分の負担をお願いしていますが、以前から、会費の納入されている方々から未納者にも会報が発送されていることに不満が寄せられていました。

また、経費面からみましても未納の方への発送費は約200万円ほどになります。

平成22年度分を含め過去5年間、会費未納の方には平成23年9月1日発行予定の会報57号から一時発送しないことになりました。

但し、会費免除の50期以前の方、卒業後5年未満の119期以後の方には送付します。翌24年以降は51期以前の方、120期以後の方と順送りになっていきます。

六稜会報
No.56

発行日 2011年3月1日

発行責任者 山本雅弘(71期)

編集 六稜同窓会

広報委員会

広報委員長 千種康一(88期)

発行 六稜同窓会 <http://www.rikuryo.or.jp/>

〒532-0025大阪市淀川区新北野2-5-13府立北野高校内

tel.06-6306-0374 fax.06-6306-1335

email.office@rikuryo.or.jp

[事務局]○月・水・金(祝日は休)10:00~17:00 六稜会館2階

印刷 株式会社ひかり工房

〒556-0002大阪市浪速区恵美須東1-10-2

tel.06-6641-6011 fax.06-6641-6012